

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

日本経済の危惧を伝える情報が多発している。故・田中角栄首相が大蔵大臣当時に1ドル360円の根拠を「円1丸1360度、だから1円は360

円」とジョークで説明したエピソードが懐かしい。明治時代に1ドル1円で生まれた日本の為替レートは、終戦後の1949年、連合国軍最高司令部によって1ドル360円と決められた歴史がある。

それから77年経つ。昨今の円相場は円安で推移しているが、更に円安ドル高水準で移行するのだろうか。外国人観光客には笑顔があふれるのだろうが、輸入品等の価格高騰が続けば、一般生活者にとってはこの冬は更に厳しい生活になる。

お互いの文化などを理解することが地域に求められている

行事ではなく冬至を祝う日だと文献で知った。キリスト教が次第に伝わっていくにつれ、地元の習慣の幾つかをキリスト教的な意味合いを込めて取り入れたと言われている。「緑」は寒い季節で

12月を迎えると、地域が赤と緑のクリスマスイルミネーションで彩られます。クリスマスがなぜ、この寒い冬に行われるのかは、キリスト教が広まる以前のヨーロッパにおいて、クリスマスは宗教

も生き生きとした色を付けている常緑樹は「強い命の象徴」で永遠の命を表し、「赤」はキリストが十字架で流した血であり神の愛の象徴を表す。「白」は雪の色であるところにも、純潔さや清められ

た魂を表し、「金」は高貴さやイエスの降誕を知らせたベツレヘムの星を表していると言われている。日本においてクリスマスは歳時記でしかないかもしれないが、訪れる外国の皆さんは、清らかな心を



急速な冷え込みで落ち葉片づけの作業量が多かったが女性会員の活躍で無事冬を迎えられる状況に

一瞬でも感じる「不思議な力を持った夜」でもある。お互いの文化などを理解することも大切に考えてほしい。11月中旬に長野県長

寿社会開発センター大北地区・白馬小谷グーループが計画した特別養護老人ホーム白嶺の施設周りの落ち葉拾いと雪害防止パネルの設

置作業に参加する。天気予報は平地まで降雪だったが、雪は舞う程度の寒風の中、予定された箇所の作業を終了することができた。プロ野球で、日本一3度を達成した故・野村克也さんの「『努力する』というのも、才能のひとつ」は、平凡な練習の意味を理解して継続することや、自らの力や特性を把握して『正しい努力』を続ける大切さ説いた言葉だ。地道なボランティア活動を積み重ねてこそ、地域に豊かさを育むと信じている。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)